

Adobe Document Cloud

法人向け総合カタログ

2026年1月版



Adobe Acrobat Studio

AIインサイトを活用してPDFを作成・編集



Adobe Acrobat Pro

文書の変換、編集、高度な電子サイン機能、高度なセキュリティ設定などを備えたPDFソリューション



Adobe Acrobat Standard

編集、変換、電子サイン機能を備えたシンプルなPDFアプリ



Adobe Acrobat Reader

PDFの閲覧、コメントの追加などができるPDFリーダー (無償)



Adobe Acrobat Services

PDFドキュメントの作成、変換、編集、自動化を行うためのクラウドベースのAPI



Adobe Acrobat Sign

アプリケーション連携などの複雑な企業ニーズに対応するスタンドアロンの電子サインソリューション



Adobe Scan

文書スキャナーアプリ (無償)

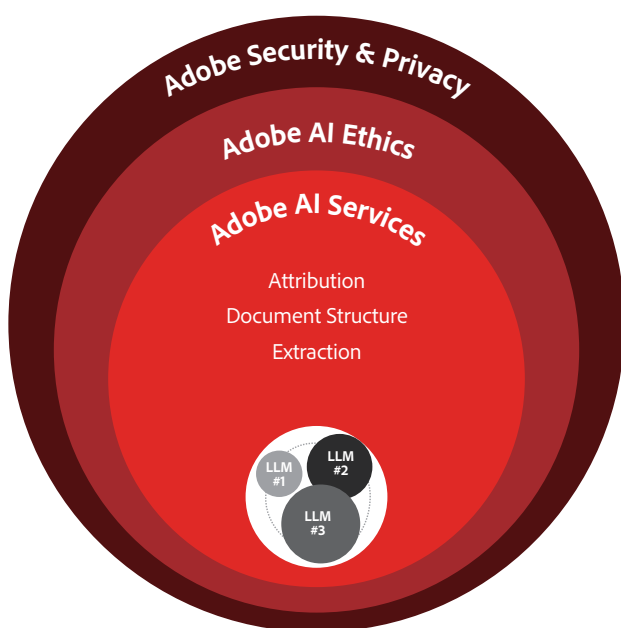
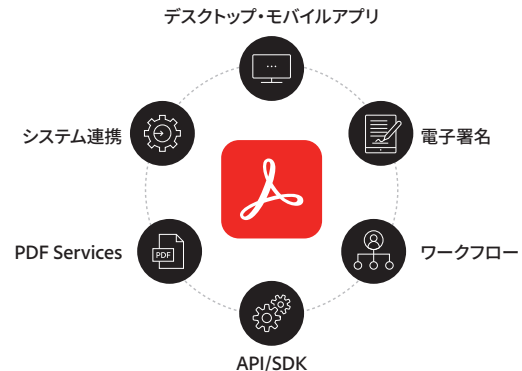
法人向けAdobe Document Cloud

組織全体のドキュメントとデータを保護しながら、生成AIで文書業務の生産性を加速

アドビはデジタルドキュメントに含まれるお客様の重要な情報を保護することに尽力しています。

Acrobat PDFは業界で認められた標準、規制、認証に準拠するために、数百ものセキュリティプロセスと管理を適用し、お客様の情報を不正アクセス、開示、または不正使用から保護するための対策を実施しています。

また、AIアシスタント機能は、アドビの責任あるAI倫理ガバナンスプロセスを経ており、説明責任、責任、透明性というAI倫理原則に沿って開発・導入されています。



アドビが取り組むAI倫理

- LLMに依存しないアプローチ：最適な仕事を実現するためLLM非依存型を採用。アドビの顧客データを使用したLLMのトレーニングは禁止されています。
- 独自のAIサービス：PDFに関する深い理解を基に、高品質で検証可能な成果を提供します。
- AI倫理：バイアスや有害なコンテンツを防ぐための倫理的な取り組みを採用。
- エンタープライズレベルのセキュリティ：情報ガバナンスと制御を徹底。ドキュメントは保存されず、ユーザーが提供したドキュメント上でのみ動作し、アクセス管理が可能です。
- 拡張可能な価値：5億人以上の顧客に、業務の流れの中で即時の価値を提供します。

法人企業向け Document Cloud 導入事例

法人向けAdobe Document Cloudは、業界や職種を問わず、幅広い企業で採用されています。

ペーパーレスやコラボレーション、業務プロセスの自動化などによる生産性向上を実現している企業の導入事例をご紹介します。

効 効率化 コ コスト削減 管 管理改善

▼ 建設・製造業


Acrobat



鹿島建設 効

長期保管が必要な施工に関する文書をAcrobatでPDF化
クラウドストレージ活用で業務効率化

Acrobat



JX金属 管

海外拠点を含む全社において、PDF取り扱いのセキュリティレベル統一と運用管理業務の効率化を同時に実現

Acrobat / Acrobat Sign



大成建設 効

電子契約により契約締結までの時間を従来の1/10にまで短縮。社内業務に沿った柔軟なワークフローを実現

Acrobat Sign



日産自動車 効

新車のサブスクリプション契約をオンライン化。契約にかかる手間が顧客、事業者ともに大幅削減

▼ 金融・保険

Acrobat



東京海上ディーアール 管

ライセンス管理の負担を軽減し、業務のクラウド化を加速

Acrobat Sign



トヨタファイナンス コ

販売店との融資契約に電子サインを導入。大幅な業務の効率化とコスト削減に成功

Acrobat Sign



ソニー銀行 効

ペーパーレスな住宅ローン契約を実現。契約締結までの期間も大幅に短縮

Acrobat Services




三菱UFJトラスト投資工学研究所 (MTEC) 効

データ分析への活用のために、Acrobat Service APIを使い、企業の統合報告書からテキスト情報を抽出

▼ 流通・小売

Acrobat



MonotaRO 効

通販カタログ・チラシのレビュー作業をPDF活用で劇的に効率化

Acrobat Sign



新成りリテリングネット 効

Acrobat Signとkintoneの連携で、複雑な雇用契約業務の効率化を実現

▼ 広告

Acrobat



電通デジタル 効

Acrobatの機能を活用し業務改革を推進。リモートのコミュニケーションを深化

▼ サービス

Acrobat Services



八楽株式会社 効

安定かつ高精度な文章抽出でユーザーの翻訳業務をサポート

▼ 行政・自治体・独立行政法人

Acrobat



JRTT 管

情報公開法に準拠したデータ処理で個人情報適切に保護し、安全なドキュメント運用を実現

Acrobat Sign



デジタル庁 管

協力覚書 (MoC) の取交わりにAdobe Acrobat Signを採用

Acrobat Sign



奈良県庁 管

電子署名を含む給付金支給までのワークフロー全体をデジタル化


その他多数の企業・行政機関にご導入頂いています。詳しくはWebサイトからご確認ください。

<https://www.adobe.com/jp/acrobat/roc/business/showcase.html>


企業内のあらゆる場所に 文書ワークフローが存在しています




重要なビジネス情報はデジタル文書の中にあります




**最も重要な
ビジネスデータは
PDF文書の中にある**



**PDFは企業の
SharePoint
ストレージで
最も多い
ファイル形式**



**Outlookで
受信する
全ドキュメントの
40%はPDF**

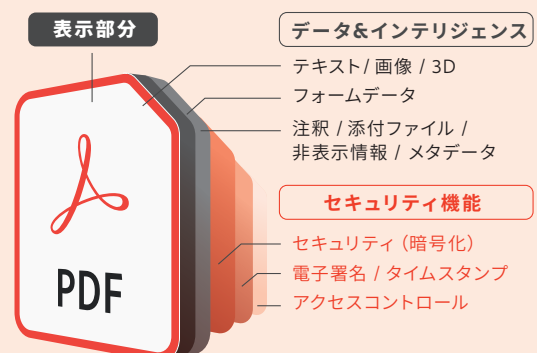


**3兆ものPDFが
メール、
クラウド、
web上に
存在している**

※アドビ調べ

Adobe PDFは多層な情報コンテナ

AcrobatならPDF内のテキストの検索や抽出が可能なPDFを作成することはもとより、データ構造化された再利用可能なPDFを作成することができます。



企業全体で正しくPDFを活用することが 企業の競争力を高めます

ワークフローの連携と自動化

ワークフローを自動化して毎日使用するツールと連携させることで、チームの業務効率を高めることができます。手動プロセスを効率的なデジタルプロセスに置き換えると、重要な仕事に思う存分打ち込めます。

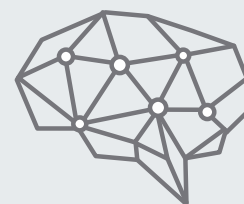
- APIで文書エクスペリエンスを再構築
- AIを使用してPDFから重要なビジネスデータを抽出
- MicrosoftやSalesforce、Kintoneなどのビジネスアプリケーションとシームレスに連携



文書内のデータ活用

契約書や請求書など、公式かつ正式な文書の多くはPDFで提供されています。セキュリティや法的要件を背景に、PDFは企業活動における重要情報の標準形式として定着しており、世界中で使われているPDFファイルは約3兆個と言われています。こうしたPDFに含まれる情報を正確に扱い、活用できることは大きな価値があります。

アドビは、長年にわたりPDFを進化させてきた独自のAI技術を活用し、過去から蓄積された大量のPDFに含まれる非構造化データを迅速かつ正確に抽出します。これにより、内容の分析や再活用が可能となり、見積書や請求書のデータを会計システムやERPなどに取り込むこともできます。また、RPAやNLPと組み合わせることで下流工程を自動化し、抽出された要素情報を活用して、より精度の高い学習モデルを構築できます。



セキュリティとコンプライアンス

アドビが提供しているのは、多層防御のセキュリティによって秘密情報への不正アクセスを防止できる、きわめて包括的なソリューションです。電子署名用のデジタルID、透かし、墨消し、アクセスコントロール、サンドボックス、暗号化といった各種の技術で文書の安全性を確保します。

また、アクセシブルなPDF文書を作成するための豊富な機能を備えているだけでなく、アクセシビリティチェックや文書構造へのタグ付けといった工数がかかるプロセスを自動化します。



柔軟なライセンス管理

- ライセンス設定をまとめて管理

Admin Consoleは、ユーザー指定ライセンスを割り当てたユーザーIDやユーザーグループ、セキュリティ設定やエンタープライズディレクトリとの連携設定などをまとめて管理できるWebツールです。

- 管理者の負担を分散できる

Admin Consoleによる管理では、ユーザーグループや製品ごとに個別の管理者を追加でき、細かい管理作業を分散させることができます。



Adobe Acrobat Studio

現場課題を解決する“実践的AI活用”を、あたらしいAcrobatで。

あたらしいAcrobatが、AIを業務の自然な流れに溶け込ませ、日々の文書業務をよりスムーズに。PDF スペースによる情報共有、Acrobat Proでの編集・承認、Express プレミアムでの成果物生成まで、現場が直面する非効率をAIが解消します。

PRODUCTIVITY



Acrobat Pro

PDF文書の作成から編集、整理、共有、署名、管理までを効率的なワークフローの中で実現するオールインワンPDFツールです。強力なセキュリティ機能により、文書を安全に保護します。

AI



PDF スペース & Acrobat AI アシスタント

PDF スペースは文書ファイルを対話型の知識ワークスペースに変え、より深い考察を得るためのパーソナライズされたAI アシスタントを提供します。得られた考察はチームや関係者と共有できます。

CREATIVITY



Adobe Express プレミアム

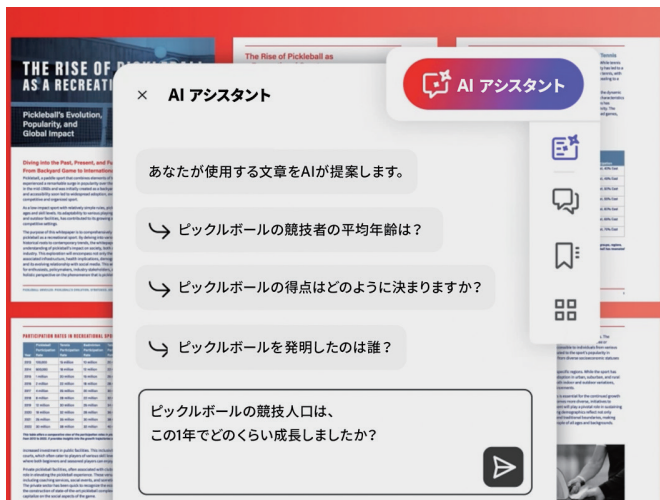
使いやすいデザインツールにより、デザインや技術に詳しくないチームでも、画像、動画、チラシ、プレゼン資料、SNS投稿などブランドイメージに沿った洗練されたコンテンツを素早く作成できます。



Acrobat AI アシスタント

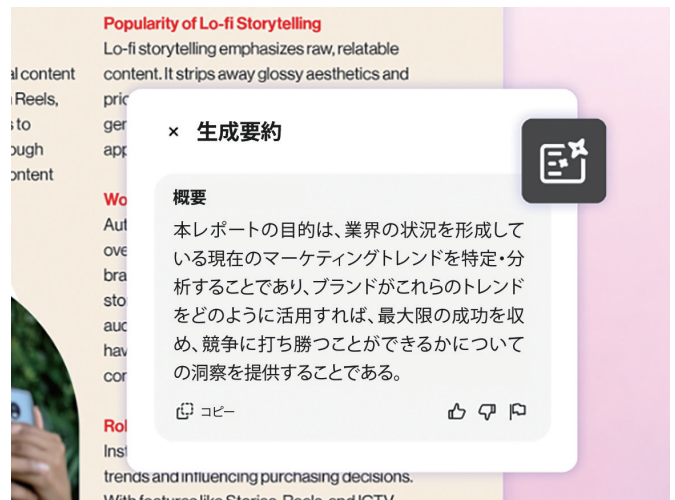
AI アシスタント

PDF内の情報をより理解しやすくするために、AIが質問を作成し、その回答を瞬時に提示します。チャットのように自分で質問し、回答を得ることも可能。回答にはPDF内の情報の引用元が表示されます。



生成要約

PDFの内容を解析してAIが要約します。文書全体またはセクションごとの要約が可能。PDF内にある情報のみを要約するため、生成AIで発生するハルシネーションなど信頼性の低い情報を提示することはありません。





PDF スペース

AI搭載のワークスペース

関連する複数のファイルやwebリンクをアップロードすると、AI搭載のワークスペース「PDF スペース」が自動的に作成されます。



文書と対話

AIが複数の文書をまたいで内容を解析し、要約します。チャット感覚で質問すると、AIが正確な引用の付いた回答を提示します。



専用アシスタント

あらかじめ役割が定義されたAIアシスタントを利用することも、独自のニーズに合わせてパーソナライズすることも可能です。



Adobe Expressプレミアム

魅力的なコンテンツを簡単に作成

抽出したインサイトをもとに、プレゼンテーションスライドやチラシ、インフォグラフィックなどの最終成果物をスムーズに作成できます。デザインスキルは不要で、スピーディかつ安定した品質でコンテンツを完成させることができます。ブランドキット機能を活用することで、自社のブランドルールに沿った一貫性のある表現が可能です。



法人向けAcrobatで、ビジネスがもっと加速する



報告書や契約書、稟議書、作業マニュアルなど、日々の業務は文書に埋め尽くされています。30年以上に渡りデジタル文書業界をリードしてきたアドビは、お客様のビジネスを加速させるドキュメントワークフローの自動化をご支援します。

1. PDFの作成・編集・書き出し

PDFを直接編集して素早く修正

PDF上で文字や画像の修正や追加/削除をしたり、ページの入れ替えや回転を行えます。スキャンされた画像形式のファイルでも、ワンクリックでOCR処理を実行できます。



Office形式に書き出して再利用

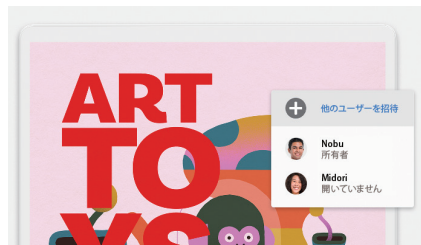
フォント、書式、レイアウトを保持したまま、PDFをWord、Excel、PowerPointのファイル形式に書き出せます。情報の再入力や書式の再設定は不要。Officeアプリケーションで開いてすぐに編集を開始できます。



2. クラウド上で関係者と共有

チームと文書を共有する

リンクを作成して誰にでも送信できます。相手はAcrobatがなくてもリンクからPDFを開くことが可能。PDFにアクセスできる人を制限することも、広く一般に公開することも可能です。



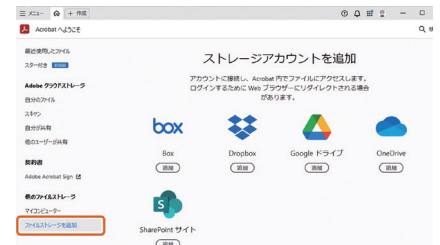
複数人からコメントを集める

1つのPDFを複数の人と共有し、コメントや注釈をもらうことができます。コメントを加えるのログインは不要。全員のコメントは1つのPDFに集約されるので、取りまとめが簡単です。



ストレージアカウントの連携

AcrobatからBox、Dropbox、Googleドライブ、Microsoft OneDriveまたはSharePointアカウントのファイルに直接アクセスし、デバイスまたはユーザー間で簡単に共有できます。



3. 新・旧文書の変更箇所比較 (Proのみ)

2つの文書をアップロードするだけ

比較したい二つの文書をAcrobatにアップロードしてボタンを押すだけで作業は完了。WordやExcelファイルを使用したい場合は、一旦PDFに変換してからアップロードします。



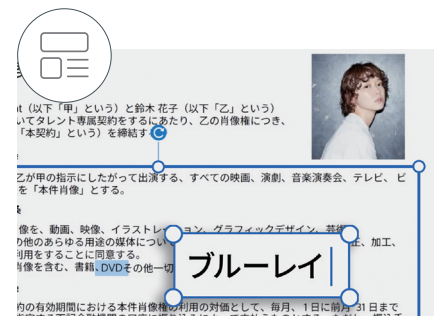
変更箇所と内容が一目でわかる

変更されたテキストや画像がハイライトで表示されるので、変更箇所が瞬時に把握できます。変更部分にカーソルをかざすと、変更内容がポップアップで表示されます。



文書の修正もPDF上で完了

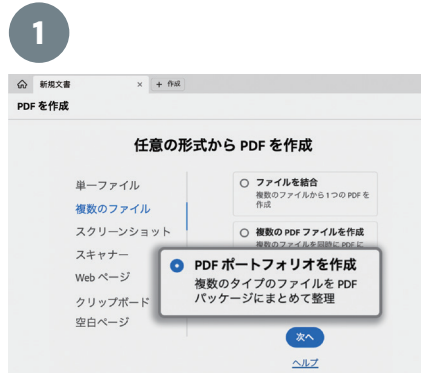
文書の修正が必要な場合でも、AcrobatがあればPDFを直接編集することができます。元ファイルを探す手間が省けるので、効率良く仕事ができます。



4. 複数のファイルをひとつにまとめる

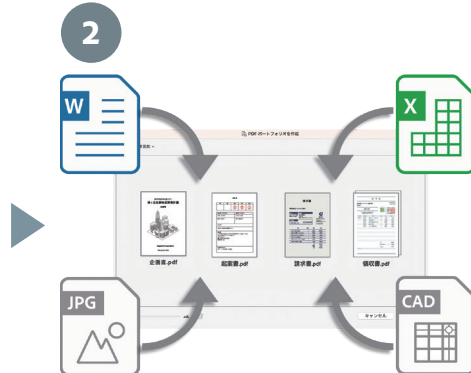
Acrobatでポートフォリオを作成

ツールで「PDFを作成」を選択します。その中の「複数のファイル」から「PDFポートフォリオを作成」を選択し、「次へ」をクリックします。



Office文書、JPG、CAD図面などの関連書類を追加

ドロップダウン、もしくはドラッグ&ドロップで関連するファイルを追加します。ファイルの順序は後からも調整できます。



関連書類を整理して保存

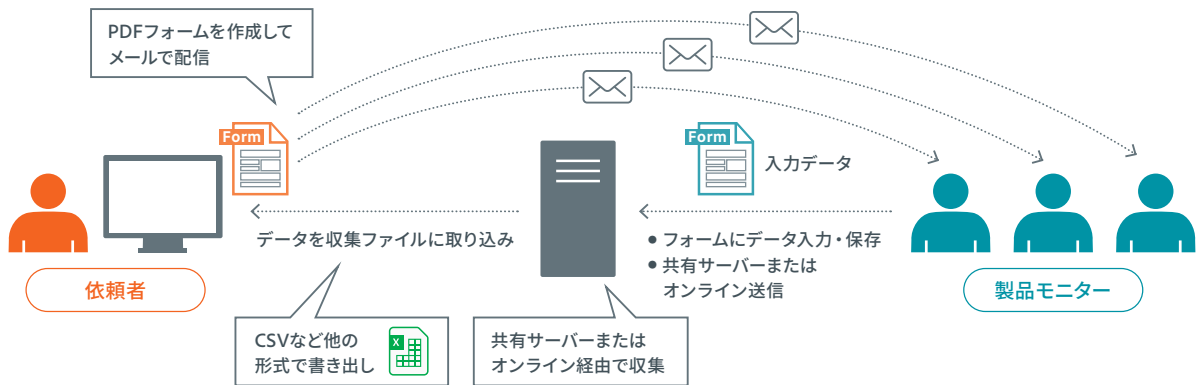
必要に応じてファイルの順番を入れ替えたり、あとから追加したいファイルをドラッグ&ドロップで簡単に追加できます。保存されたPDFポートフォリオから、元のファイル形式のまま取り出すことも可能です。



5. 申込書やアンケートの入力フォームを作成・配布・回収

活用例: 新製品に関するアンケート調査

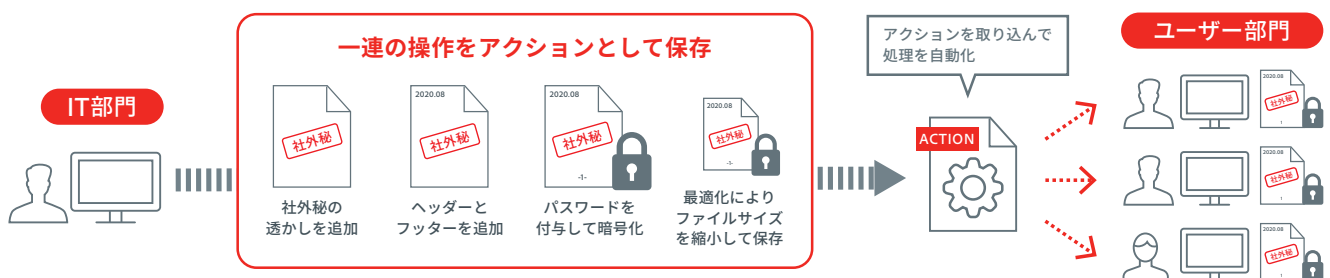
アンケートフォームをPDFで作成し、モニター全員に電子メールで一斉配信。入力・返信されたデータは自動的に集計されます。集計したデータは、書き出して表計算ソフトなどで活用できます。



6. 複数の文書処理を自動化 (Proのみ)

活用例: 大量の文書に社内ルールを適用して安全に共有

大量の文書に社内ルールに沿った設定を適用するときなど、時間と手間を大幅に省略でき、設定漏れなどのミスを防ぐことができます。また、作成したアクションは他のユーザーとも共有できるため、社内文書の一貫した品質維持とセキュリティ統制にも役立ちます。



Adobe Acrobat Services

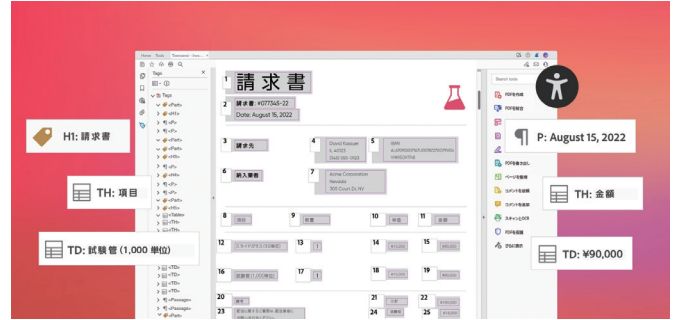
ドキュメントワークフローの自動化でビジネスを加速

Adobe Acrobat Servicesは、ユーザー開発アプリにPDFの作成・操作・埋め込みの機能を簡単に組み込める、クラウドベースのAPIです。ドキュメントのライフサイクル全体にわたってシームレスなドキュメント体験を簡単に構築できます。



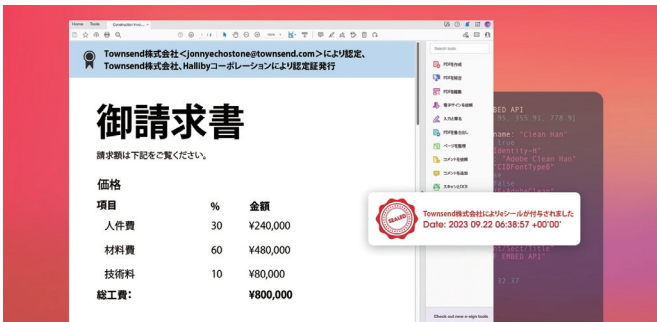
Adobe PDF Services API PDFの作成、変換、ODR

Node.js、Java、.Net用のSDKを利用してPDFの作成、セキュリティ強化、圧縮、変換、結合、分割などを迅速に行えるサービスです。ドキュメント生成やPDF抽出などの高度な機能も提供します。



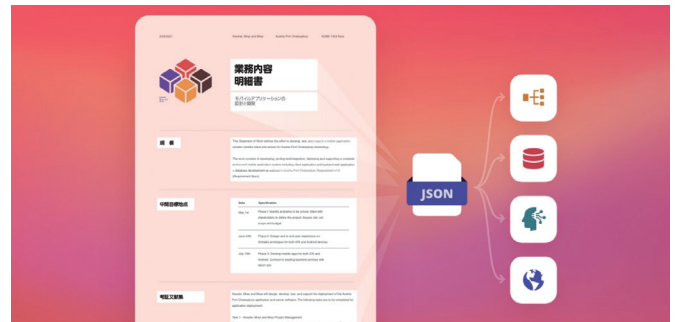
Adobe PDF Accessibility Auto-Tag API PDFに自動タグ付けしてアクセシビリティを向上

表、段落、リスト、見出しなどを自動でタグ付けし、PDFの読み取り体験を向上させます。ドキュメントのバックログや新しいワークフローに適用し、コンプライアンスを容易にします。



Adobe PDF Electronic Seal API PDFにeシールを適用

Adobeの承認された信頼リスト (AATL) にある特定のTSP (信頼サービスプロバイダー) が発行した証明書を使用して、大量の文書へのeシールの適用を自動化できます。



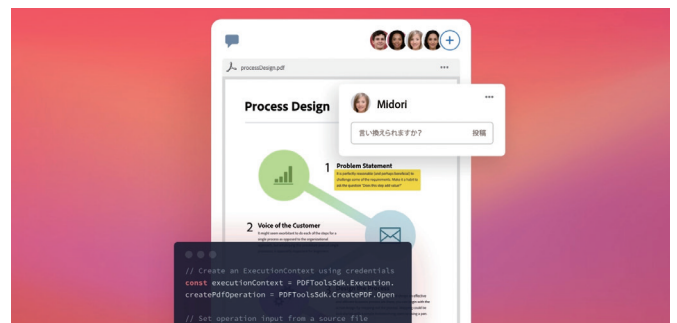
Adobe PDF Extract API あらゆるPDFのコンテンツ構造を解放

PDFからデータやコンテンツを抽出し、解析・処理を行います。テキスト、画像、表などを抽出し、構造化されたJSONファイルに変換します。



Adobe Document Generation API WordテンプレートやJSONデータからPDFを生成

契約書、請求書、提案書などを簡単に作成できます。Wordテンプレートとデータを使い、動的な文書を生成可能です。Adobe Acrobat Sign統合で署名も簡単に行えます。



Adobe PDF Embed API

数行のコードでインタラクティブ性と分析機能を備えたPDFを簡単に埋め込み無料のJavaScript APIを活用してPDFを埋め込み、追加プラグインなしでPDFを表示できます。PDF Embed APIで豊富なPDF閲覧体験やデジタルコラボレーション、文書分析が可能です。

Adobe Acrobat Sign

社内承認から電子帳簿保存法対応まで電子契約の 様々なニーズに対応

シンプルで安全な電子サインとAdobe Acrobatの強力な機能を組み合わせた唯一の電子契約ツールで、ビジネスワークフローに変革をもたらし、スピードアップを実現します。Fortune 501の企業が信頼するAcrobat Signは、Microsoft製品の推奨電子サインソリューションでもあり、透明性の高い安心の価格設定を提供しています。



署名の収集



署名と収集にかかる時間のムダを無くします

- ・モバイルでもデスクトップでも、どこからでもPDF文書にアクセスし、署名することができます。
- ・受け取った人は、新たなソフトウェアのダウンロードや初期登録の必要がなく、すぐに署名することができます。

管理と トラッキング



署名用文書を素早く作成・送信・トラッキング

- ・署名が必要な文書をAcrobat、Microsoft Word、その他のアプリケーションから素早く簡単に送信できます。
- ・送信した文書の署名の進捗状況をリアルタイムで確認できます。
- ・文書が署名された際には、通知を受け取ることができます。
- ・頻繁に使用するフォームを再利用可能なテンプレートとして作成・管理することができます。

一括送信



複数の受信者への送信も簡単

- ・ワンクリックで複数の人に署名用文書を送信できます。
- ・受信者の名前や役職などがあらかじめ記入された、契約者ごとの文書を作成し送付することができます。
- ・プロセス全体をリアルタイムで追跡することができます。

システム連携



導入済みのツールやアプリと電子サインを連携

- ・Workday、ServiceNowなどとの連携により、人事業務の効率性を高めます。
- ・Salesforce、Microsoft Dynamics 365、kintoneなどとの連携により、より多くの契約締結を行うことができます。
- ・intra-martやAgileWorks、Power Automateとの連携により、より自由で柔軟なAPI開発ができます。
- ・SharePoint、OneDrive、Google Drive、Boxなどのクラウドストレージと連携することで文書管理もシームレスに行うことができます。

自社ロゴ等の カスタマイズ



自社のブランディングに合わせて署名依頼をカスタマイズ

- ・署名ページを自社のロゴでカスタマイズすることができます。
- ・署名を依頼する電子メールにロゴやキャッチコピー、オリジナルメッセージを追加することができます。

Document CloudとMicrosoft製品の連携



Microsoft 365アプリの中でAcrobatおよびAcrobat Signを使用できるため、ウィンドウを切り替える必要がなく、作業の流れを保ったまま効率的に仕事を進めることができます。Microsoft Word、Teams、Outlookなど、日常的に使用するアプリケーションの中で、PDFの作成、編集、共同作業、署名の依頼、追跡などの作業をこなすことができます。

	<p>Word、Excel、PowerPoint PDFの作成、共有、トラック、署名はお使いのMicrosoft 365アプリケーションから直接おこなえます。</p>	
	<p>Microsoft Teams 契約書の作成、共有、承認にMicrosoft Teamsを使用することで、文書の作成や成約までの時間を短縮できます。</p>	
	<p>Microsoft Power Platform Power AutomateとPower AppsがAdobe Acrobat ServicesおよびAcrobat Signとの連携により、文書プロセスの自動化、カスタムアプリケーション開発の合理化が可能になります。</p>	
	<p>Microsoft SharePoint SharePoint内でMicrosoft 365ファイルをPDFに変換し、複数の文書を1つのファイルにまとめることができます。文書ワークフローと管理を簡素化するためには、Power Automateとの組み合わせによる実装で対応可能です。</p>	
	<p>Microsoft OneDrive OneDrive内でMicrosoft 365ファイルをPDFに変換し、複数の文書を1つのファイルにまとめることができます。</p>	
	<p>Microsoft Dynamics 365 Microsoft Dynamics内でAcrobat Signの機能を利用し、契約書を送信、署名、トラック、保存することができます。</p>	
	<p>Microsoft Purview Information Protection Acrobatデスクトップ版でMicrosoft Purview Information Protectionの秘密度ラベルを使用して、PDFをラベリングして保護できます。</p>	
	<p>Microsoft Entra ID (旧Azure AD) Adobe Admin Consoleと連携することで、Microsoft Entra IDの認証情報を使ってアドビ製品にシームレスにアクセスできます。</p>	

Microsoft Teamsの中で署名を完結



Microsoft Teams アプリ内で操作



Teams 会議中に署名を実行



Teams の承認機能と連携

Microsoft Power Automateと連携して文書業務を自動化










セールスプラットフォーム

電子署名

文書生成

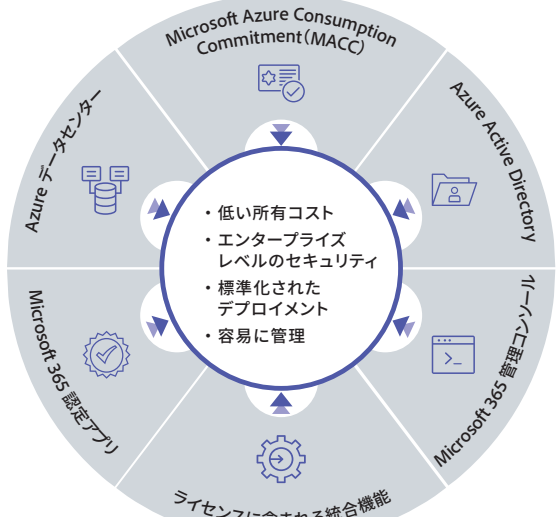
ワークフロー自動化

コラボレーション


Microsoft Dynamics CRM	Adobe Acrobat Sign	Adobe PDF Services	Microsoft Power Automate	Microsoft Teams
<ul style="list-style-type: none"> 既存の営業インフラを拡張 情報を直接書き込む 既存のワークフロー内で作業 	<ul style="list-style-type: none"> 署名完了までの時間を短縮 コンプライアンスを確実に順守 デジタル監査証跡の作成 	<ul style="list-style-type: none"> Adobe DocGen APIで契約書の作成を自動化 テンプレートから契約書を作成 DataverseやCPQシステムからインポート 	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し発生する作業を自動化 既存のツールでチームを強化 多数のアプリ、サービス、データソースに接続可能 幅広いパートナー・エコシステム 	<ul style="list-style-type: none"> コラボレーション 署名のリアルタイム通知 チャット内での合意事項の実行 承認に電子署名を追加

Microsoftへの投資効果を最大化




30%

取引時間の削減




USD \$21.50

取引ごとのコスト削減




519%

ROI



48%+

効率向上



※ 出典：Forrester Total Economic Impact of Acrobat Sign, 2022年1月

Adobe Acrobat Studio、Acrobat Pro、Acrobat Standardの比較

Adobe Acrobat Studioは、Acrobat Pro、Adobe Express Premium、生成AI搭載のドキュメントインテリジェンスを統合したオールインワンの生産性プラットフォームです。Acrobat Studioはツールの乱立を削減し、意思決定を迅速化し、セキュリティを損なうことなく作業が最初から最後までスムーズに流れることを保証します。

	Acrobat Standard	Acrobat Pro*	Acrobat Studio
Acrobat AI アシスタントとPDF スペースを利用して文書業務を効率化			
PDFやプレゼンテーション、様々なファイル形式のデジタル文書に対してチャットし、出典付きの質の高い、わかりやすい回答を得る			●
スキャンした文書と対話して重要なデータや洞察を得る			●
長くて複雑な文書を要約して要点を抽出			●
メール、ブログ、プレゼンテーションなどのコンテンツを生成			●
複数の文書を同時に読み込み、関連するテーマを抽出し、戦略的な洞察を得る			●
契約書や会議議事録などの文書タイプを自動検知し、その文書タイプに特化したインサイトを生成			●
PDF スペース：ファイル、Webリンク、テキスト、文書、目標、インサイト、次のステップを単一のワークスペースに集約し、クライアント、パートナー、チームが迅速に連携し、作業を前進			●
Microsoft Teams 及び Zoom と連携し、会議の要約やアクション項目を特定			●
Adobe Expressを利用してブランドにふさわしいコンテンツを迅速に作成			
厳選された2億8000万以上のアセットと35万以上のテンプレートにアクセスし、高品質なコンテンツを作成			●
生成AIでコンテンツを強化 - 画像、動画、アニメーションを手間なく作成・統合			●
高度なコンテンツ編集機能：背景消去、キャプション作成、音声からアニメーション作成、動画のトリミング/切り取り/エクスポート、ナレーション録音、ソーシャルアカウントへの公開			●
一括作成、テキスト/画像生成、生成塗りつぶしなどの生成AI機能での効率化			●
複数ソーシャルメディアアカウントへの公開・スケジュール設定が可能			●
ローカル市場向けにブランドに合ったテンプレートを素早くカスタマイズ - コンテンツを0から作成不要			●
即時リサイズと翻訳が可能であり、あらゆるコンテンツを適応 - 追加ツール不要			●
PDF、プレゼンテーション、チラシ、バナー、動画、ソーシャル投稿、ウェブページなど、あらゆるコンテンツタイプに適応したデザインを実現			●
承認済みテンプレートでブランドイメージを維持しながら、1/3の時間でスライドを作成			●
チーム間での承認、プロジェクト共有、リアルタイム編集とコメントによる高度なブランド管理			●
CCライブラリによるアセットの一元管理とAdobe AEM アセットとのシームレスな連携を実現			●
PDF、Creative Cloud、Workfront、AEM、Slack、BoxやGoogle Driveなどのストレージプラットフォームとの組み合わせ連携でワークフローを効率化			●
コンテンツのライフサイクル全体を通じて、暗号化、アクセス制御、透かし、知的財産保護によりエンタープライズレベルのセキュリティを確保			●
商用利用が安全で補償付きの生成AIによるコンテンツを作成			●
PDFを保護し、誰でも利用できる状態に設定			
パスワード保護されたPDFを作成	●	●	●
Windows、macOS、オンラインで利用できるMicrosoft 365のデスクトップアプリでPDFを作成、保護、送信	●	●	●
他のユーザーが機密情報をコピー、編集、印刷できないように、PDFを保護	●	●	●
Microsoft Purview 情報保護の表示機能とラベル付け機能を使ってPDFを保護*	●	●	●
PDF内の表示されている機密情報を墨消し		●	●
PDF/A、PDF/Xなど、ISO規格に準拠した形式へのPDF変換または適合性の検証		●	●
障がいのあるユーザーのためのアクセシビリティ基準を満たすPDFを作成および検証		●	●
アクションウィザードに従って一貫性の高いPDFを作成		●	●

	Acrobat Standard	Acrobat Pro*	Acrobat Studio
どこからでも PDF を編集・管理			
デスクトップ、モバイルデバイス、ウェブブラウザから PDF コンテンツを閲覧、作成、編集、コメント	●	●	●
表示、レビュー、署名用の文書のリストにアクセスし、詳細なタスク情報を確認	●	●	●
オンラインでファイルを保存、管理、共有し、最近表示したファイルにどのデバイスからでも瞬時にアクセス	●	●	●
Box、Dropbox、Google ドライブ、Microsoft OneDrive のアカウントで PDF にアクセス、編集、保存	●	●	●
重要なファイルにスター（星）を付けて、デバイスを問わずアクセス可	●	●	●
印刷可能なアプリケーションから PDF を作成	●	●	●
文書や画像を PDF に変換、ウェブページをリンク付きのインタラクティブな PDF に変換	●	●	●
PC、モバイルデバイス、またはウェブブラウザから PDF を他のファイル形式に変換	●	●	●
デスクトップまたはモバイルデバイスから、Adobe Photoshop (PSD)、Illustrator (AI)、または InDesign (INDD) ファイルを PDF に変換		●	●
OCR はスキャンした文書や画像を、元の書体と一致した検索可能で編集可能な PDF に変換		●	●
複数の文書やファイル形式を 1 つの PDF ファイルに結合	●	●	●
2 つの PDF を比較し、すべての相違点を確認		●	●
デスクトップから PDF 内のテキストや画像を編集し、ページ全体の段落再配置が可能	●	●	●
PDF に音声、動画、インタラクティブオブジェクトを追加		●	●
紙や Word ファイルを記入可能な PDF フォームに変換		●	●
番号付きリストや箇条書きリストを、書式を変更せずに作成	●	●	●
法的文書に通し番号を追加		●	●
高品質な印刷物を制作するためにファイルをプリフライト、準備		●	●
電子署名			
署名を集め、リアルタイムで応答を追跡	●	●	●
再利用可能なテンプレートを作成して共有	●	●	●
複数の署名者向けに 1 つの契約書をまとめて送信		●	●
PDF や文書をウェブサイトに公開し、顧客が即座に記入・署名・送信できる Web フォームを提供		●	●
署名リスクエストを自社ブランドに合わせてカスタマイズ		●	●
アカウントレベルで電子署名設定を管理		●	●
PDF で安全に共同作業			
PDF リンクを共有して受信者が表示、注釈、署名できるようにし、受信者が操作したときに通知を送信	●	●	●
グループフィードバックを 1 つのオンライン PDF で収集（レビュー担当者はログイン不要）	●	●	●
テキスト編集、ハイライト表示、ノート注釈を含む総合的な注釈ツールを使用して、PDF にコメントを追加	●	●	●
Windows または macOS から、Microsoft 365 サイトで SharePoint ベースのレビューをホスト	●	●	●
オートフィルコレクションのデータを使用し、コンピューターまたはモバイルデバイスからフォームに入力、署名、送信	●	●	●
Microsoft 365 および Microsoft Teams で PDF をレビュー、コメント	●	●	●
組織規模でのデプロイと管理			
Web ベースの Adobe Admin Console を使用して、ライセンスを追加、消去、再割当て、管理。ユーザーとグループを管理し、複数の管理ロールを設定	●	●	●
AUSST を使用して Acrobat Pro、Acrobat Standard、Acrobat Reader の製品および更新プログラムをローカルサーバーから配布し、RUM で自動的にデプロイ	●	●	●
Citrix XenApp、Citrix XenDesktop、Vmware Horizon、Microsoft App-V、Microsoft Windows Terminal Server (WTS) でユーザー指定ライセンスをサポートする仮想化ツールを利用可能	●	●	●
アプリケーションセキュリティおよびサンドボックス技術でシステムとデータを保護	●	●	●
Acrobat Customization Wizard および Acrobat Enterprise Toolkit で機能と設定をカスタマイズ	●	●	●
Microsoft SCCM/SCUP および Apple Remote Desktop を使用してデプロイ、アップデート	●	●	●

* AI Assistant for Acrobat は Add-on として別途購入可能です。

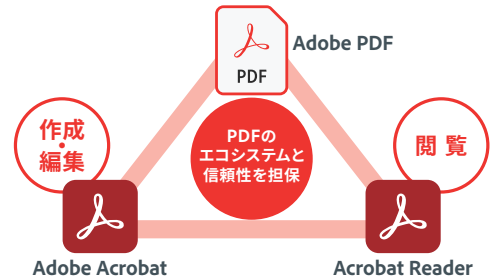
* Microsoft Purview Information Protection は別途購入が必要です。

Adobe Document Cloudは様々な機関に導入いただいています



PDFのグローバルデファクトスタンダード: Adobe Acrobat

- ISO32000-1「完全」準拠
- ISMAP (政府情報システムのためのセキュリティ評価制度) を取得
- 電子帳簿保存法対応
- デジタル庁「ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック」でアクセシブルPDFの作成に Adobe Acrobat を使うことを推奨
- 2023年のMicrosoftセキュリティアワード (Security ISV of the Year) 受賞
- 米国家安全保障局 (NSA) は非表示情報の除去に Adobe Acrobat を使うことを推奨



アドビ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.com/jp/

このカタログに記載の情報は、2026年1月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, the Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2026 Adobe. All rights reserved. ASJST2063 01/26

お問い合わせはこちら